

令和3年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

| | | | |
|--|-------------------------------|-----|-----|
| 氏名 | 後藤 達彦（37歳） ※ 年齢は令和3年4月1日現在 | | |
| 所属・職名 | 帯広畜産大学グローバルアグロメディシン研究センター 助教 | 現住所 | 帯広市 |
| <p><功績名></p> <p>「鶏卵の食味関連成分における遺伝および環境要因の研究による畜産物の高付加価値化」</p> <p><功績の内容></p> <p>氏は、日本鶏品種の遺伝資源および国産の飼料資源を有効活用した発酵飼料に着目して、遺伝要因によって20種類の卵黄および17種類の卵白の遊離アミノ酸等の成分含量が有意に変化することを発見するとともに、環境要因によって2種類の卵黄および23種類の卵白の成分が大きく変動することを明らかにした。これに加えて、卵黄および卵白の食味（苦味雑味など）に影響を与える遺伝および環境要因も発見した。</p> <p>日本の資源を用いた遺伝および環境要因によって、ある種の栄養成分や機能性成分の含量を有意に高めたデザイナーエッグ生産の可能性が示されたことから、多様な消費者のニーズに応える答えることが可能になるため、生産者および消費者の双方にとって良い効果が見込まれる。北海道の大手鶏卵企業をはじめ、生産者、地鶏組合などとの継続した産学連携での研究は、地域の畜産物のブランディングに貢献する取組として期待されている。</p> <p><経歴></p> <p>（略歴）</p> <p>平成18年 3月 宮崎大学農学部卒業</p> <p>平成20年 3月 広島大学大学院博士課程前期修了</p> <p>平成23年 3月 広島大学大学院博士課程後期修了、博士（農学）取得</p> <p>平成23年 4月 国立遺伝学研究所 博士研究員</p> <p>平成25年 5月 茨城大学 博士研究員</p> <p>平成28年 4月 ノッティンガム大学 日本学術振興会海外特別研究員</p> <p>平成28年10月 帯広畜産大学 助教</p> <p>～現在～</p> <p>（受賞歴）</p> <p>平成25年 2月 公益財団法人井上科学振興財団 第29回井上研究奨励賞</p> <p>平成27年 9月 日本家禽学会 奨励賞 「ニワトリの卵関連形質を支配する量的形質遺伝子座の解明」</p> <p>令和 2年11月 財団法人農学会 日本農学進歩賞 「ニワトリの卵および成長形質を支配する遺伝的基盤の解明」</p> | | | |